

ハラスメント研修

社内研修を行いました！



ハラスメント対策の義務化

- ・2020年6月、改正労働施策総合推進法(パワハラ防止法)が施行
- ・大企業では2020年6月1日より、
中小企業では2022年4月1日より義務化されました

パワハラ防止措置の3本柱

- ①事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発
→研修の実施
- ②相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
→相談窓口の設置
- ③職場におけるパワーハラスメントに係る事後の迅速かつ適切な対応
→社内規定の作成



講師紹介

名屋社労士事務所 代表 名屋浩志 氏

社会保険労務士 (愛知県社会保険労務士会 理事)
働き方改革推進事業 専門家派遣アドバイザー
健康経営エキスパートアドバイザー
SDGsアドバイザー

長時間労働の是正と賃上げコンサルとして助成金
を活用した業務改善を指導。
オンラインによるコンサルやセミナー講師としても
全国で活動中。



検索よりも AI

森 直樹 (代表取締役社長)



最近、よく使うのが AI を使った検索です。特に専門分野に関する調べものでは、ネット上に散らばる情報を取捨選択し、整理する作業がとても大変です。だからこそ、AI を介して情報を集約・整理された形で受け取ることで、インプットの質が格段に向上していきます。もちろん、「AI が出してくる情報が正確かどうか」は常に精査が必要です。ただ、何度も使っていくうちに、使い方のコツや注意点が自分の中で磨かれていくのを実感しています。これからの世代にとっては、こうした使い方が当たり前になり、従来の検索エンジンだけを使うスタイルは、時代遅れになっていくのかもしれませんが、さらに、まず AI に作業をさせて、それでもうまくいかない部分だけを人間が補うというプロセスを繰り返すことで、AI の得意・不得意が見えてきて、より効率的な活用方法も掴めるようになります。もちろん、すべての作業に AI が適しているわけではありません。だからこそ、自分の中で「AI と人間の役割分担」を理解していくプロセスが大切だと感じています。結論として、とにかく使ってみないと分からないことが多い。そして、使ってみないと、その良さも見えてきません。まずは難しく考えすぎず、試してみましょう。また、AI と日々対話しながら、自分だけの情報をネットと切り離された環境で蓄積していくことができれば、もう 1 人の自分——つまり「自分専用の知的パートナー」を育てることも可能になるはずです。そんな「もう 1 人の自分」と会話しつつ、仕事を任せる未来がやってくるとしたら。我々人間が担うべき役割とは何か？という問いにも自然と向き合うようになります。10 年後ではなく、5 年後には大きく世界が変わっているかもしれません。ちなみに、今回の原稿はほぼ本人が書いております。笑



以前、劇団四季 名古屋でミュージカル『キャッツ』を観賞してミュージカルに興味を持ち、続けて劇団四季 名古屋公演でのミュージカル『バケモノの子』も観賞しました。次は、ミュージカル『レ・ミゼラブル』を観たいなと夢は膨らみましたが、名古屋公演の予定はなかったのと、他の公演先のチケットを入手するのも難しいのはわかっていたので諦めていましたが、奇跡的に大阪公演（梅田芸術劇場）でのチケットを2枚入手することが出来ました。大阪公演前に、YouTubeで『レ・ミゼラブル』に関する情報を確認、又、テレビで帝国劇場 建て替えの為、最後の千秋楽の模様なども観る等 準備万端で大阪へ向かいました。この作品は全世界で興行収入記録更新中の“ミュージカルの金字塔”原作は、フランス文学の巨匠ヴィクトル・ユゴーが自身の体験を基に、19世紀初頭のフランスの動乱期を舞台に当時の社会情勢や民衆の生活を克明に描いた大河小説です。日本では1987年6月に帝国劇場で初演を迎えました。全世界での観客総数も1億3000万人を突破する程の名作です。出来れば帝国劇場（東京）で観たかったけど梅田芸術劇場（大阪）での公演も最高でした。席は劇場1階の後方（S席）でした（会場は満席）。ミュージカルの音楽は、生のオーケストラ演奏、照明や舞台装置も素晴らしく、俳優さんたちの一人ひとりの歌も演技もレベルが高かった。レ・ミゼラブルの名曲の数々を生で聞いたことに大変感動しました。特に、民衆のリーダーの青年アンジョルラスを中心とする民衆たちが歌っている「民衆の歌」は迫力がありました。この作品と出会えて、ミュージカルの素晴らしさを再認識しました。最新の情報では、2025年8月-9月に東京・大阪・福岡・愛知で英語上演の『レ・ミゼラブル』ワールドツアーが国際的なキャストとオーケストラ総勢65人以上の集結で予定されています。詳細情報は4月予定とのことですが、チケット争奪戦をのり越え、再びあの感動を味わいたいと思っています。

本命?!

清水 亮太（企画営業部）



1年に1回位しか書かない波紋ですが、いざ回ってくると何を書こうか迷っている3月某日。先日行った義理の家族との石川旅行？先日開幕したMLB 大谷さん？いやいや大谷さんじゃなくてわたしはサッカーをやってきたから三苦さんについて書いてみようか？と考えはぐらぐら、足取りはルンルン、趣味の船にゆらゆら、釣りに出かけました。また釣りの話かい、そうです釣りの話です、語らずにはいられないネタができました。みなさん、「オオニベ」という魚はご存じでしょうか？オオニベは、スズキ目に属するニベ科の中でも成長すると体長は1mを優に超え、重量も30kgを超える、サーフ（海岸沿い）から狙うことができる魚としては最大級の魚種。日本三大怪魚と称されるアカメ、イトウそしてビワコオオナマズに次ぐ怪魚として知られています。千葉県外房・相模湾、土佐湾から九州南岸までの太平洋岸、瀬戸内海、東シナ海に分布。



そうわたしが釣ったのがこの「オオニベ」マイホーム伊勢湾でもまれに40cm位のオオニベが釣れるのですが…わたしが釣ったのはなんと、「90cm」「6.0kg」、最大級に比べると大したことはありませんが、それでもたっぷりな重量感。カンパチ狙いだったので、本命ではありませんが、思わぬ収穫でした。書いているときはまだ食べられておりませんが、船長曰く”焼き”が絶品のようなので、楽しみです。それはそうと、こちらは本命です。今年の第33回元氣が出る森松展は、10月16日（木）～17日（金）に行います。わたしが幹事を務めます。自分の色を出しながら、これに関わる皆様 / 来場者様が、少しでも役立つ / 楽しかったと思っていただける展示会を目指します。詳細は決まり次第開示していきますので、楽しみにしていただけますと幸いです。

花粉症

丹羽 義直（企画営業部）



この文章を書いている3月。暖かくなり春を感じる陽気になってまいりました。私は花粉症患者なので、春は毎年のように苦しんでいます。鼻水、くしゃみ、咳、目のかゆみ——これらはもはや春の風物詩といえるのではないのでしょうか。スギやヒノキの花粉が主な原因とされ、特に3月から4月にかけてその猛威を振るうとのことですが、私はなぜか4月後半から5月ごろ発症することが多く、3月になるはずないと油断してました。ある3月初週の土曜日の朝、目が覚めたら喉がイガイガし声が出ませんでした。幸い休日だったので助かりました。次に鼻詰まりも確認。この段階では「風邪かな?」と思い熱を計ると「36.0℃平熱」。念の為病院で診察してもらうも幸いなことに風邪やコロナ、インフルではありませんでした。その日は日中が暖かく、車で移動中に「少し暑いな」と思い窓を開けて帰りました。するとどうでしょう。帰宅する頃には目がかゆくてかゆくて仕方ありません。まるで目に砂でも入ったかのような違和感に襲われ、鏡を見れば充血した目をした男がいました。今年は鼻がちょっと鼻詰まりを感じるくらいでよかったのですが、ひどいのが喉と目。空咳がずっと止まらず、今のご時世的にマスクをしても気まずさがあります。目も擦ってはいけませんが、どうにもならないレベルの痒みが襲いかかってくるのでたまったものではありません。花粉症は、ただの「季節の不調」と片付けられないほど生活に影響を及ぼします。集中力の低下や体のだるさがあり、外出が億劫になることも少なくありません。今年は鼻うがいであるとか薬とかを色々試してみておりますが、元々の体質なのか、あまり市販薬の薬効が出にくいので特に効果は感じられませんでした。「来年こそは楽に過ごしたいなあ」と思っているのですが、具体的に何をするのが正解なのかわからないのが辛いところです。花粉症患者にとって、春は試練の季節です。いつか、花粉に悩まされない技術革新が訪れる日を夢見て、マスク生活を続けてまいります。

1年経った

松井 宣和（製造部）



去年の1月10日に会社へ出勤して朝7時20分ごろ仕事に取り組み始めると急に身体が熱くなって、それと同時に胸が締め付けられる。今までに経験をしたことがない激痛が10秒ぐらい続く、心臓を「ギュッ」と素手で握られた感じで立ってられない。なにこれヤバい！ヤバいよ!!周りには誰もいないのでさらに不安になる。1分ぐらいなのか10分たったのか、時間感覚も分からないまま気が付くと痛みが無いことに気づき、落ち着きを取り戻す。すぐに病院に連れていってもらい診断。カテーテル検査入院することになった。診察・血液検査・血圧・点滴、そのうちに手術室に運ばれて、全身に防護服みたいのを着せられ片腕を出す。イメージと違う。太ももの付け根の血管からカテーテルを入れて太い血管を通過して心臓へ。ではなく、最近手首に麻酔をかけて、そこから血管にカテーテルを入れられるようだ。痛みも違和感も無く2~3分で、CTに映しながら心臓に到達して攣縮の誘発試験検査を受ける。これはわざと痙攣を起こす薬剤を注入し反応を見る検査だと説明を受ける。心臓の表面には太い血管が3本あり、そのうちの1本がダメになっており、一部細くなって痙攣した後がある。もし3本ダメだと違う病院に転院しますとのことでした。太ももからとは異なり手首からだ

と止血する時間が短くて済み、身体の負担や合併症が少なく、また医療費も少なく済むそうです。最終診断結果は、心臓の冠動脈が痙攣して細くなる狭心症で、リスク要因として主にタバコ・精神的ストレス・アルコール、ほかに寒冷差で夜間から朝方の時間帯に起こりやすいそうです。症状が出た場合ニトログリセリンを摂取して血管を広げると改善されるそうです。ほかっておくと、不整脈や心筋梗塞に発展する場合があるので気をつけたいです。もう1年経ちましたが、クスリが効いているおかげか異常はありません。



NEW MORIMATSUMAN

新入社員のご紹介



かとう たくま
加藤 啄馬さん

初めまして！1月に入社した加藤啄馬と申します。

前職、前々職と違う業種の製造業に勤めていました。前職は手洗い器や便器などの加工運搬、前々職は工場などで使う作業台やラックを作る作業をしていました。

趣味はゲーム、ピアノ、ライブ鑑賞です。現在は要工場で4号機プレス of 作業をメインに覚えさせてもらっています。工場勤務は慣れていますが初めての業界なのでわからないことも多く、ご迷惑をかけてしまうと思いますが、できる限り多くのことをやるように覚えていきたいと思っていますのでよろしくお願いします！

....

社長よりエール

加藤さん、年齢は20代ですが非常に落ち着いた雰囲気のある青年です。

また自身の手が空くことの無いよう、常に次の仕事を考えつつ仕事をしています。

まだこれからではありますが、プレスを中心に仕事の幅を広げていってくれるよう期待しております！

ウォーキング始めました

円道 陽子（森松産業）

去年の11月からウォーキングを始めました。かかりつけ医から運動不足を指摘され、毎日が難しければ週末だけでもやりませんか？と言われたのがきっかけです。これまでも徒歩で買い物へ行ったり、エスカレーターやエレベーターは使わないようにと心がけてきましたがあまり続かず…。夏になれば暑く、冬になれば寒いからと挫折してきました。しかし、今回は今までと違い少し続いています。主に自宅周辺を30～40分散歩するだけですが、もう少し余裕がでてきたら1時間を目指したいです。自宅周辺は緑も多く、池がある公園もあり、季節の花や野鳥も見ることができます。歩いていると、こんなところに緑地に行けそうな階段が…。などの発見があり、一人ではちょっと行きにくい階段や道もありますが、私有地では無さそうなのでいつか行ってみたいような、木々に覆われているので少し怖いような…。歩いている時に知らない人に声をかけられてビックとする事もありましたが、マイペースに続けていきたいと思います。また、できるだけ階段や上り坂の多いコースを選んで、体力と精神も鍛えたいです。これは怠け心との闘いです。ウォーキングをしていると同じように歩いている方や、走っている方と会うこともあります。犬の散歩で公園に来ている方もいます。勝手に同志と思いながら、すれ違います。3月から4月はスギ、ヒノキなど花粉が飛び、花粉症の私にはつらい時期ですが、何とかウォーキングを続けようと思っています。

